

10. 地域の情報化について

10-1 「広報おおぐち」の利用状況（問44）

問 44 町では、毎月1回「広報おおぐち」を全戸配布していますが、あなたは、広報おおぐちを読んでいますか。【回答数：○印を1つだけ】

程度に差はありますが、9割弱の人が“広報おおぐちを利用している”と答えています。しかし、若い世代では、まだまだ利用率が低く、利用促進が必要です。

【全体】（図10-1-1）

- 「広報おおぐち」について「目を通す程度であるが毎回読んでいる」が38.7%と最も多く、「毎回よく読んでいる」が36.5%と続きます。
- 上記の2項目に「時々必要事項を選んで読んでいる」の13.7%を合わせると、程度に差はありますが、「広報おおぐち」89.3%の町民が購読しています。

【前回比較】（図10-1-1）

- 平成27年調査との比較では、概ね同様の結果となっています。

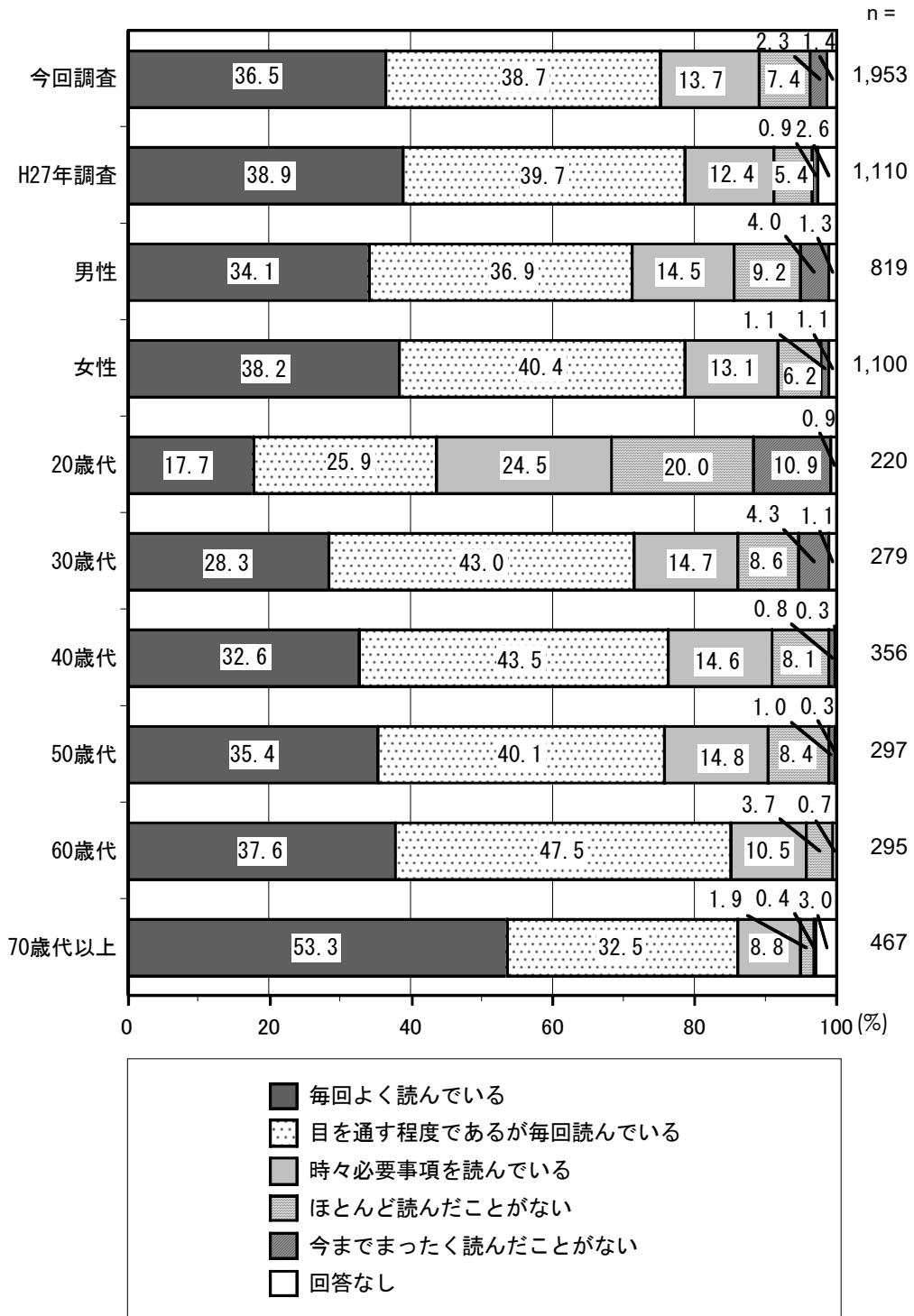
【性別】（図10-1-1）

- 女性の方が男性よりも「毎回よく読んでいる」は4.1ポイント、「目を通す程度であるが毎回読んでいる」は3.5ポイント多く、「広報おおぐち」をよく読んでいる様子がうかがえます。

【年齢別】（図10-1-1）

- 「毎回よく読んでいる」は50歳代で35.4%、60歳代で37.6%、70歳代以上で53.3%と、高齢世代ほどよく利用しています。
- 一方、20歳代は「毎回よく読んでいる」が17.7%と少なく、「ほとんど読んだことがない」（20.0%）、「今までまったく読んだことがない」（10.9%）と合せて30.9%がほとんど購読していません。

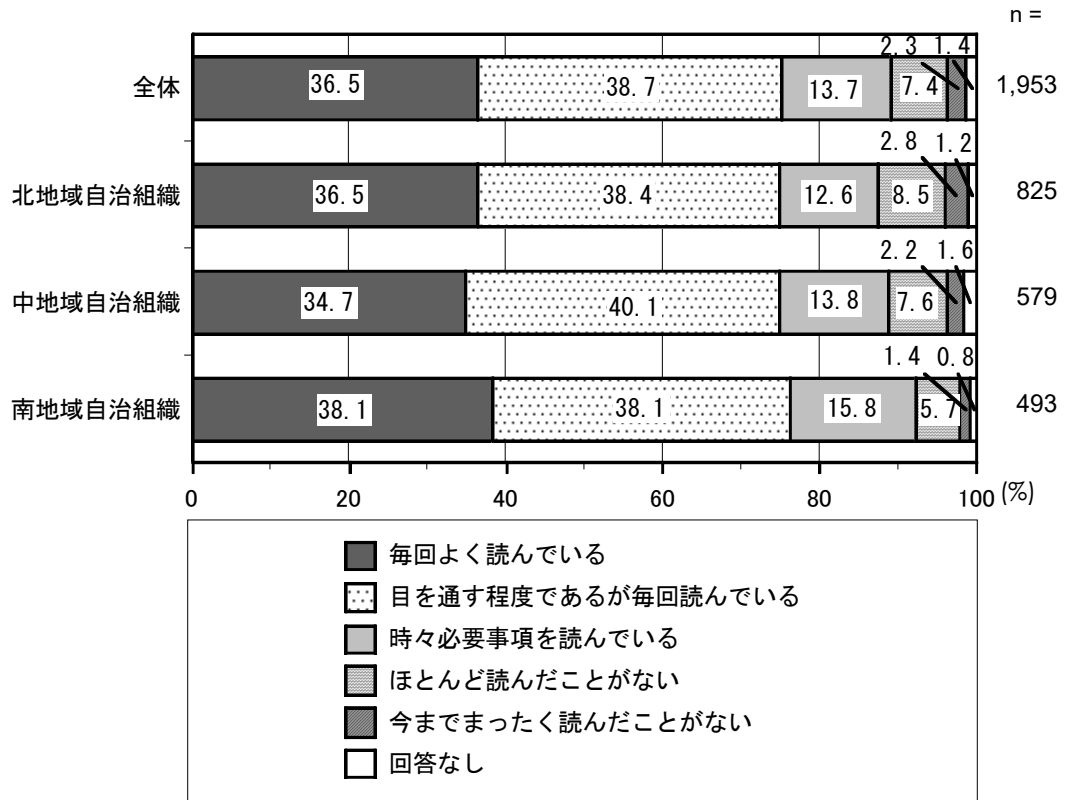
図 10-1-1 前回比較・性別・年齢別『広報おおぐち』の利用状況



【居住地域別】 (図 10-1-2)

○居住地域別による有意な差は認められません。

図 10-1-2 居住地域別『広報おおぐち』の利用状況



10-2 個別受信機による放送状況（問45）

問 45 町では、毎朝（午前7時20分）と毎夕（午後7時15分）に防災無線の個別受信機を通じて「各課のお知らせ」を放送しています。あなたは、この放送を聴いていますか。

【回答数：○印を1つだけ】

全体の35.2%が「ほぼ毎日聴いている」、14.3%が「たまに聴いている（週に1～2回程度）」とし、特に高齢世代において、“防災無線の個別受信機による放送”はよく活用されています。若い世代では「個別受信機がない」とする人も多く、普及していません。

【全体】（図10-2-1）

- 防災無線の個別受信機を通じた「各課のお知らせ」について、「ほぼ毎日聴いている」という回答が35.2%と最も多く、「たまに聴いている（週に1～2回程度）」の14.3%と合わせると、49.5%が“防災無線の個別受信機による放送”を活用しています。
- 「個別受信機がない」は25.9%となっています。

【前回比較】（図10-2-1）

- 平成27年調査との比較では、「個別受信機がない」が3.4ポイント増加している程度で、大きな差異はみられません。

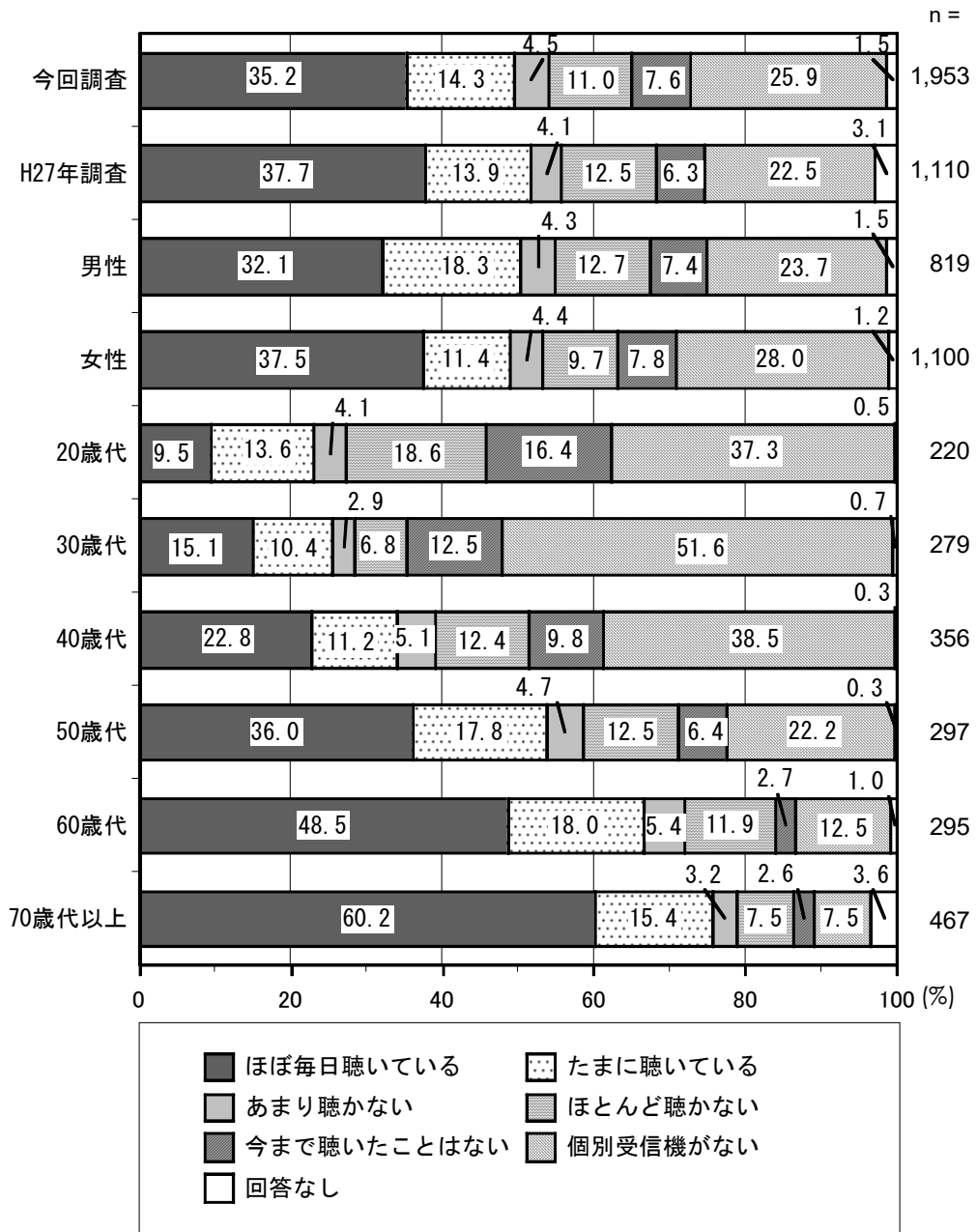
【性別】（図10-2-1）

- 女性の方が男性よりも「ほぼ毎日聴いている」が5.4ポイント多く、よく活用しています。

【年齢別】（図10-2-1）

- 若い世代よりも高齢者の方が、“防災無線の個別受信機による放送”をよく活用しています。「ほぼ毎日聴いている」と「たまに聴いている（週に1～2回程度）」を合わせると、50歳代は53.8%、60歳代は66.5%、70歳代以上にいたっては7割以上となっています。
- 「ほぼ毎日聴いている」は、20歳代が9.5%、30歳代が15.1%と少なくなっています。
- また、「個別受信機がない」は、20歳代が37.3%、30歳代が51.6%、40歳代が38.5%と非常に多くなっています。

図 10-2-1 前回比較・性別・年齢別「個別受信機による放送状況」

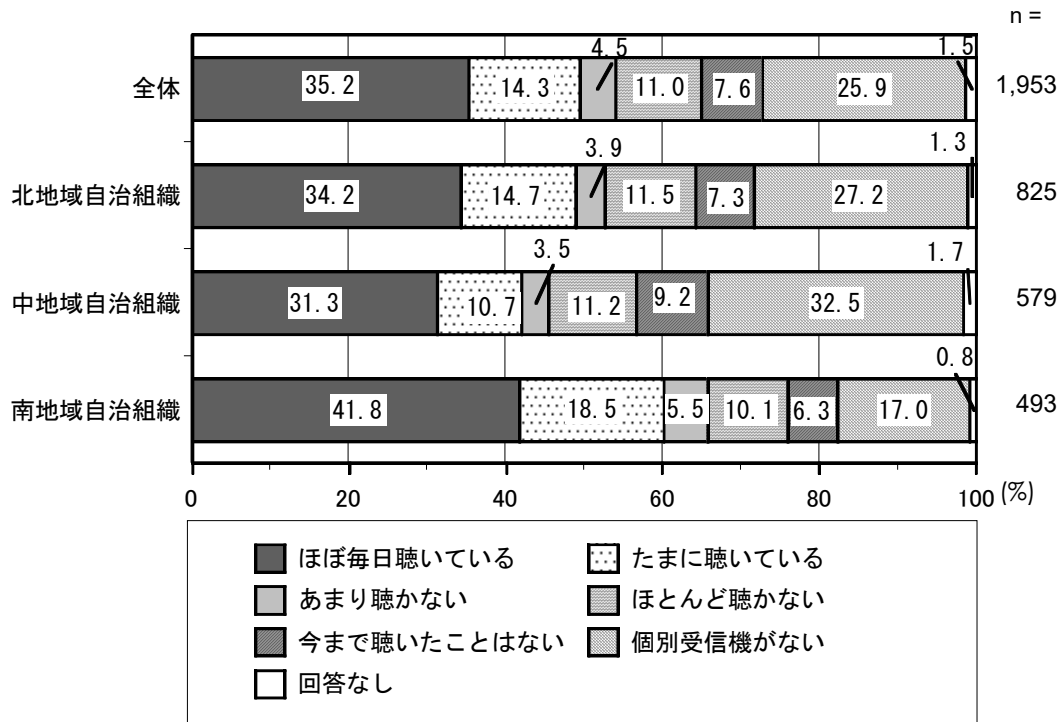


【居住地域別】 (図 10-2-2)

○南地域自治組織では「ほぼ毎日聴いている」が41.8%を占め、6.6ポイント全体よりも多く、よく活用されています。

○中地域自治組織では「個別受信機がない」が32.5%と最も多く、あまり普及していません。

図 10-2-2 居住地域別「個別受信機による放送状況」



10-3 インターネットの利用 (問46)

問46 あなたは、ご家庭でインターネットを利用していますか。【回答数：○印を1つだけ】

インターネットを「利用している」という町民は、前回調査から8.2ポイント増加、前々回調査からは25.9ポイント増加しており、7割以上がインターネットを利用するようになりました。若い世代では9割以上普及しています。

【全体】 (図10-3-1)

- 「利用している」が70.7%と、「利用していない」の22.5%を大きく上回りました。
- 「利用したいが、パソコンがないなどの理由で利用できない」は4.7%となっています。

【前回・前々回比較】 (図10-3-1)

- 平成27年調査から「利用している」は8.2ポイント増加し、また「利用していない」が4.6ポイント減少しています。
- また、平成17年調査からでは「利用している」が25.9ポイントと大幅に増加し、「利用していない」も15.8ポイント減少していることから、インターネットの普及が進んでいることがわかります。

【年齢別】 (図10-3-2)

- 20～40歳代では、普及が大きく進み、いずれも9割以上、50歳代でも9割弱の人がインターネットを利用しています。
- 若い世代に比べ少ないものの、60歳代では56.9%、70歳代以上でも31.5%の人がインターネットを利用しています。

図10-3-1 前回・前々回比較「インターネットの利用」

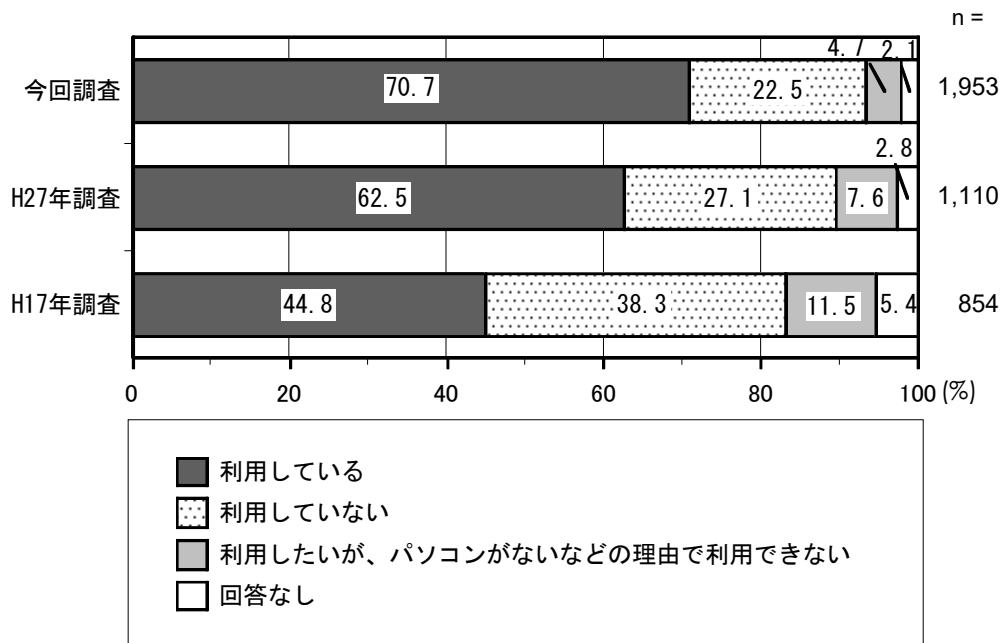
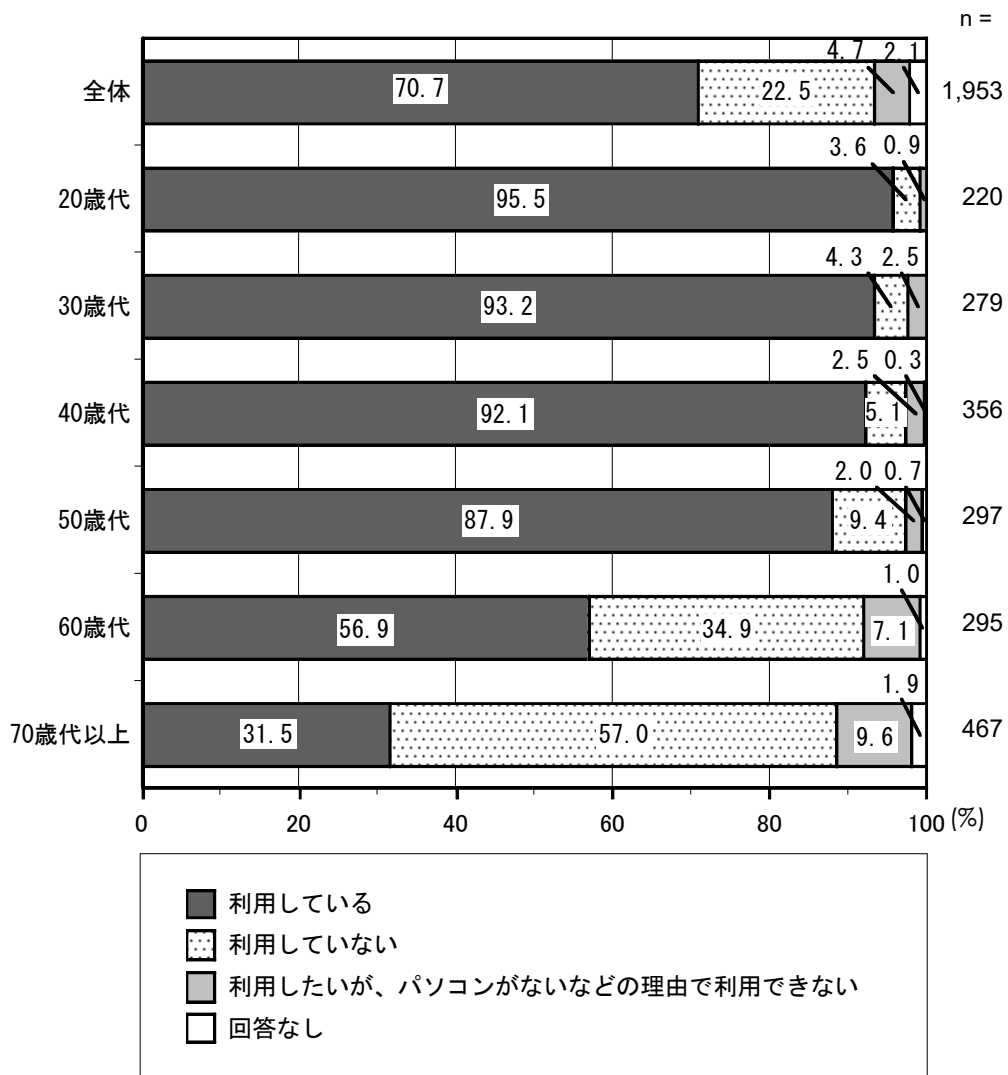


図 10-3-2 年齢別「インターネットの利用」



10-4 インターネット活用による地域情報化施策への期待（問 47）

問 47 あなたは、インターネットを活用した地域情報化施策を進めることに、どのような効果を期待しますか。【回答数：2つまで○印】

“インターネット活用による地域情報化施策”には「役場への届け出や申請などの手続きが窓口以外でも可能になり、便利になる」ことが最も多く期待されています。

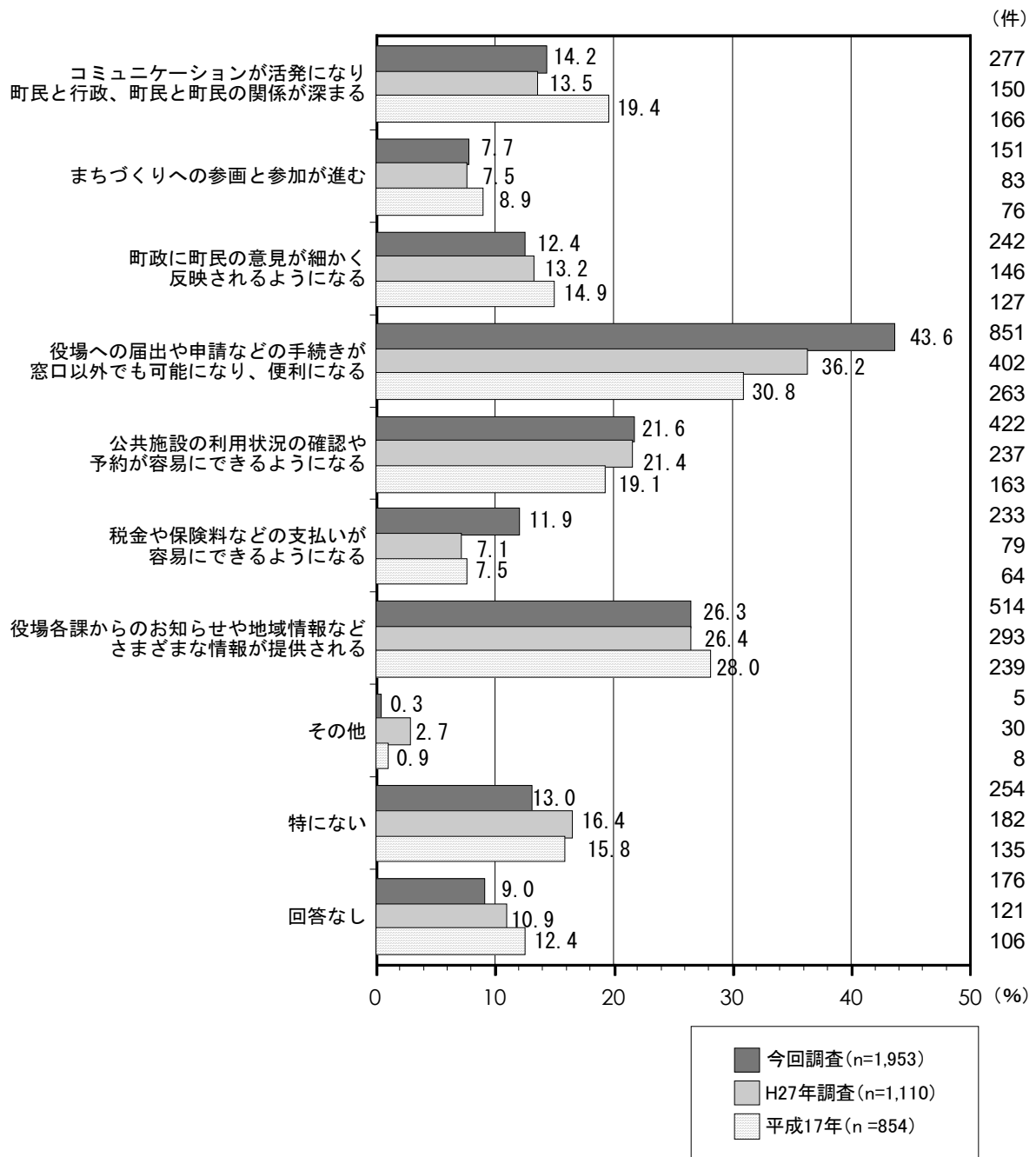
【全体】（図 10-4-1）

- 「役場への届け出や申請などの手続きが窓口以外でも可能になり、便利になる」が 43.6%と、最も多く期待されています。
- 「役場各課からのお知らせや地域情報などさまざまな情報が提供される」が 26.3%、「公共施設の利用状況の確認や予約が容易にできるようになる」が 21.6%と続きます。

【前回・前々回比較】（図 10-4-1）

- 最も多く期待されている「役場への届け出や申請などの手続きが窓口以外でも可能になり、便利になる」は、平成 27 年調査から 7.4 ポイント、平成 17 年調査からは 12.8 ポイントも増加しています。

図 10-4-1 前回・前々回比較「インターネット活用による地域情報化施策への期待」



【問46「インターネットの利用」別】 (図10-4-2)

○問46で“インターネットを利用している”と答えた1,381人のうち、53.4%が「役場への届け出や申請などの手続きが窓口以外でも可能になり、便利になる」を、また30.1%が「役場各課からのお知らせや地域情報などさまざまな情報が提供される」を期待しています。いずれも全体よりも高い数値であり、インターネットを既に利用している人は、その効果を実感し、より期待していることがわかります。

○一方、「利用していない」と答えた人は、その3割が「特になし」を選んでいきます。

図10-4-2 問46「インターネットの利用」別「インターネット活用による地域情報化施策への期待」

